

徳島大学病院「西病棟」完成

国立大学法人
徳島大学

徳島大学病院[病院長：香川 征(かがわ すずむ)]では、本年8月に新病棟「西病棟」が完成し、9月下旬から運用を開始する予定です。

(報道概要)

徳島大学病院では、本年8月に新病棟「西病棟」が完成しました。

9月14日(月)に記念式典を開催、9月19日(土)から23日(水)の間に入院患者及び物品の移動を行い、9月下旬から運用を開始する予定です。

「西病棟」は、11階建てで、1階には第一種感染症病床(2床)を、10階には細胞治療センター(28床)を配置しています。

また、院内アメニティに配慮し、病棟内には、武蔵野美術大学との共同事業によるホスピタルギャラリー(1階)及びプレイルーム(3階)を、11階には展望レストランを設置しています。

詳細は、別添資料のとおりです。

このことにつきまして、報道下さるようお願いします。

【設計趣旨・整備概要】

- ・ 本事業は、人間尊重の全人的医療の実践を目標として、医学・歯学統合大学病院設立に対応した病棟、救急治療施設及びリハビリテーション施設の整備を目的とする。
- ・ 医科と歯科を統合した患者中心の医療・看護の提供、及び全ての医療行為において思いやりをもった医療人の育成を計る事を目標として整備を進めた。
- ・ 建物配置としては、平成10年に完成した東病棟と一体となるよう雁行型に西病棟を計画。
- ・ 階構成としては、1階に救急外来、第1種感染症病床、総合リハビリテーションセンター、2階から9階は、一般病床、10階は細胞治療センター、11階には特別病室、レストラン、寄付事業としてメディカルホール(日亜ホール)を整備。

お問い合わせ先

部局名 医学部・歯学部附属病院

責任者 病院長 香川 征

担当者 再開発推進室長 森 裕之

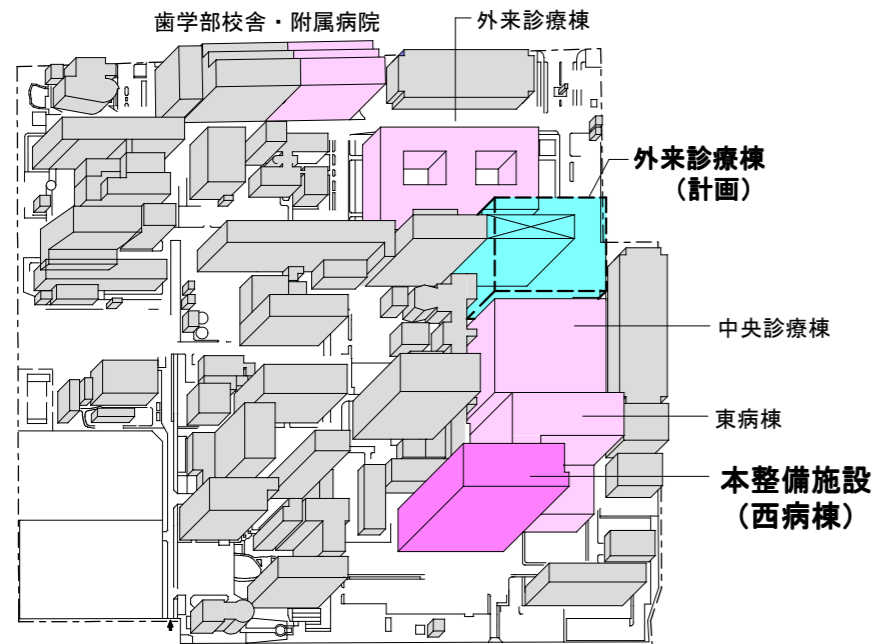
電話番号 088-633-7045

メールアドレス bsaikaic@jim.tokushima-u.ac.jp

徳島大学医学部・歯学部附属病院 病棟Ⅱ期（西病棟）整備概要



完成パース（南東方向より）



蔵本団地

- 本整備施設（西病棟）
- 改築計画施設（外来診療棟）
- 病院関連施設
- 学部関連施設等

■ 病院再開発整備推移 ■

H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H19	H20	H21	H22
東病棟				中央診療棟				本整備施設（西病棟）			
■				■				■			



平成21年8月

西病棟整備概要

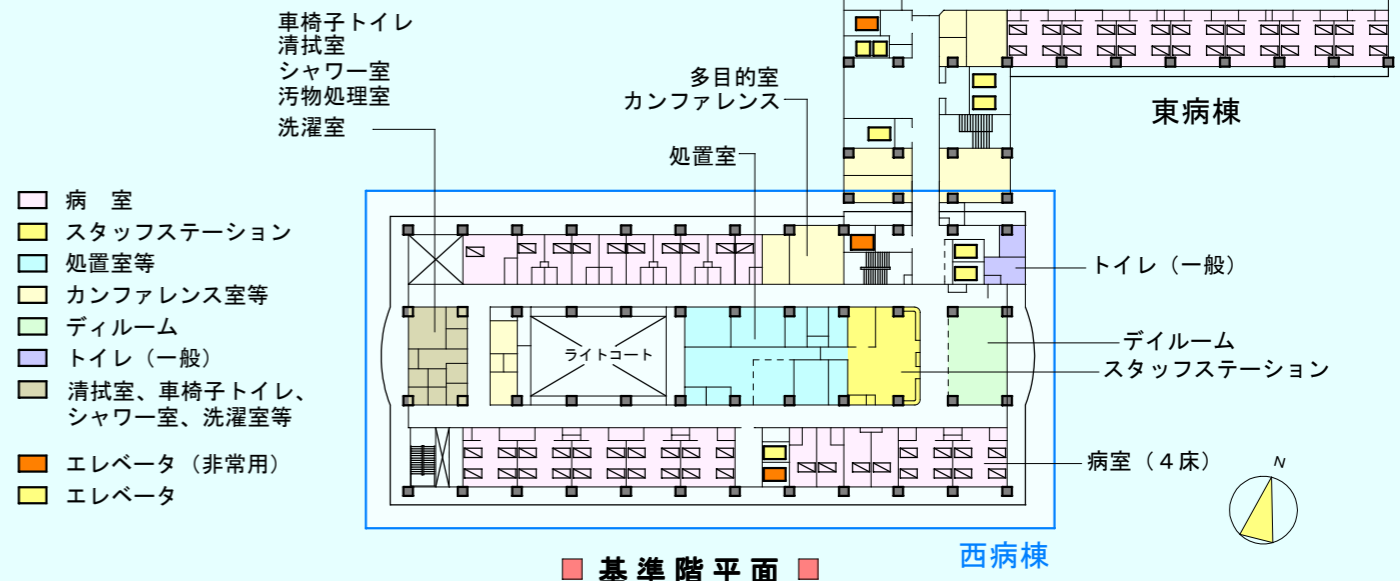
名称	徳島大学医学部・歯学部附属病院西病棟								
所在地	徳島市蔵本町2丁目50番地の1（国立大学法人徳島大学蔵本団地構内）								
延床面積	19,100㎡								
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上11階 地下1階								
基本設計	徳島大学施設マネジメント部								
実施設計	株式会社 山下設計（建築） 株式会社 新日本設備計画（電気・機械）								
工事監理	徳島大学施設マネジメント部								
施工	建築	戸田建設株式会社							
	電気	六興電気株式会社							
	衛生	高砂熱学工業株式会社							
	昇降機	株式会社日立製作所							
	工期	平成19年1月～平成21年8月							
総工費	約70億円								
階高	1階	5.0m	2～4階	4.8m	5～10階	3.9m	11階	4.3m	最高高さ54.0m
	外部仕上げ	屋上 シート防水							
	外壁	磁器質タイル（二丁掛）							

主要内部仕上表

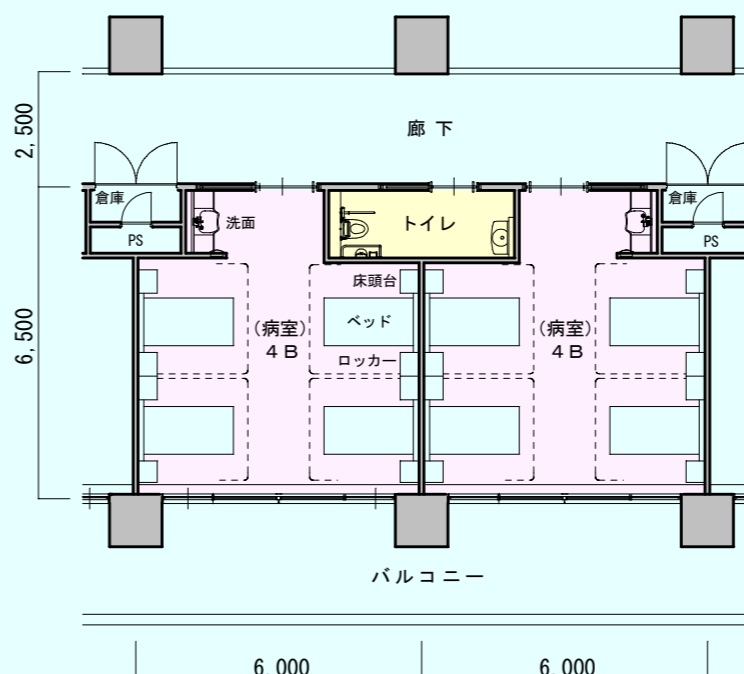
室名	床	壁	天井
病室	ビニルシート（木目）	ビニルクロス	化粧ロックウール吸音板張
スタッフステーション	ビニルシート	合成樹脂エマルジョンペイント塗装	〃
デイルーム	木製フローリング	〃	〃
処置室	ビニルシート	〃	〃
リハビリテーション(1階)	木製フローリング	練付合板・ビニルクロス	〃
レストラン(11階)	ビニルタイル（木目）	合成樹脂エマルジョンペイント塗装	合成樹脂エマルジョンペイント塗装
メディカルホール(11階)	タイルカーペット	練付合板・ビニルクロス	化粧ロックウール吸音板張

階構成の基本的な考え方

- ・2看護単位を1ユニット（東、西病棟）として構成。
- ・スタッフステーションは人の出入りの管理がしやすい病棟コア、デイルームに面した位置とし、臨床教育を考慮しゆとりある計画とした。
- ・平面形態は複廊下式とし、病室の居住環境の向上を計る。
- ・病床は、基本的に南側に4床室、北側に個室を構成し患者のアメニティの向上とベッドサイドティーチングに対するスペースを確保。
- ・トイレは分散方式とし、患者のアメニティに配慮。



病室の構成（4床室）



西病棟 (381床)

階	施設名	床数	備考
11F	メディカルホール（日亜ホール） レストラン(84席)、特別病室(4床)	11F	※(11階 メディカルホールは寄付事業)
10F	細胞治療センター (血液内科、小児科)	(28床)	10F
9F	形成外科 口腔外科、内科、共通	(44床)	9F
8F	耳鼻咽喉科 泌尿器科	(44床)	8F
7F	内科	(44床)	7F
6F	内科 第2種感染症病床	(41床)	6F
5F	眼科 皮膚科	(44床)	5F
4F	内科 心臓血管外科	(44床)	4F
3F	小児医療センター	(44床)	3F
2F	放射線科、婦人科	(42床)	2F
1F	総合リハビリテーションセンター 救急外来、第1種感染症病床(2床)	(2床)	1F

東病棟 (315床)

8F	整形外科 泌尿器科	(50床)
7F	外科	(49床)
6F	外科、共通	(49床)
5F	脳神経外科 神経内科、麻酔科	(46床)
4F	集学治療病棟 (ICU、SCU、無菌)	(31床)
3F	産科 周産母子センター	(45床)
2F	精神科神経科 臨床医研修センター	(45床)
1F	栄養管理室、厨房、洗濯室等 病理解剖、中央機械室	

病棟階構成

設計主旨・整備概要

- ・本事業は、人間尊重の全人的医療の実践を目標として、医学・歯学統合大学病院設立に対応した病棟、救急治療施設及びリハビリテーション施設の整備を目的とする。
- ・医科と歯科を統合した患者中心の医療・看護の提供、及び全ての医療行為において思いやりをもった医療人の育成を計る事を目標として整備を進めた。
- ・建物配置としては、平成10年に完成した東病棟と一体となるよう雁行型に西病棟を計画。
- ・階構成としては、1階に救急外来、第1種感染症病床、総合リハビリテーションセンター、2階から9階は、一般病床、10階は細胞治療センター、11階には特別病室、レストラン、寄付事業としてメディカルホール（日亜ホール）を整備。